

会議等名	平成 29 年度 第 6 回 海老名市総合計画審議会
日 時	平成 30 年 3 月 20 日(火) 10:00~11:20
場 所	海老名市役所 3F 政策審議室
出席者	<p>委員：今泉委員、桐生委員、小林委員、武井委員、濱田委員、深須委員、藤田委員、勝田委員、杉山委員、館委員 (欠席：萩原委員、吉岡委員、内山委員、)</p> <p>事務局：財務部長 柳田 理恵 企画財政課長 清田 聡 企画財政課政策経営係長 石田 恵美 企画財政課政策経営係主事 関野 大輔 企画財政課政策経営係主事 中尾 義人 企画財政課政策経営係主事 木村 直子</p> <p>傍聴者：なし</p>
1 開 会	
2 議 題	<p>(1) 海老名市第四次総合計画 後期基本計画及び平成 30 年度実施計画について 後期基本計画及び平成 30 年度実施計画について一括で事務局より説明。</p> <p><質疑・意見等></p> <p>(委員) かがやき持続総合戦略では、基本目標で若者の結婚に触れているが、総合計画の施策では、若者の結婚について触れられていないので、考え方を伺う。 →平成 30 年度は、結婚に関する取組は予定していないが、様々な子育てに関する施策等を実施することで、結婚に繋げていきたいと考えている。</p> <p>(委員) 結婚に関する過去の事業等の実績について伺いたい。 →平成 28 年度に、海老名市、座間市、綾瀬市の 3 市合同で、講師を招き、婚活セミナーを広域事業として全 3 回開催した。 アンケートの結果、結婚に繋がった方がいることを把握している。 一方、行政が主体となって、結婚に関することどこまで関わっていくものなのかといった課題があり、検討が必要であると認識している。</p> <p>(委員) 平成 30 年 4 月から機構改革に伴って、課等名が変更になると伺っているが、実施計画では担当部課名が平成 29 年度の課等名となっているので、分かり易くするために、工夫していただきたい。 →機構改革に伴う課等名の変更については、部等設置条例を改定する必要があるが、条例の改定は 3 月議会で議決を得られる予定であることから、現時点では、新課等名を記載することを控えた。議決後については、新旧対照表を添付するなど、4 月に再整理していきたいと考えている。</p> <p>(2) 次期総合計画について 次期総合計画に関する資料に基づき、事務局から説明。</p> <p><質疑・意見等></p> <p>(委員) 次期総合計画は、シンプルで分かり易くなると感じているが、計画体系をどの様にまとめていくのかと地域別計画の取扱いについて伺う。 →第四次総合計画での計画体系は、6 つのフィールドに政策と施策が位置づけら</p>

れていたが、次期総合計画では、分野別目標として、行政組織に基づいた分野を設定し、そこに政策や施策を位置づけるとともに、個別計画と連携が図れるように示していきたいと考えている。

また、次期総合計画では地域別計画については、例として、政策や施策の中で、地域に関連する課題等を明記するなど、何らかの手法で示していきたいと考えている。

(委員) 1点目は、次期総合計画での年号の取扱いについて伺いたい。

2点目は、これまでの計画では比較的詳細に主な事業等が示されていたが、現在、少子高齢化や人口減少問題等の課題や地域のニーズも多様化・複雑化している中、次期総合計画では理念や構想のみを示し、具体的な方策等はその時々において予算等によって示すといった形がよいのではないかと感じているので、検討いただきたい。

3点目は、現在、地域共生社会の実現が強く求められているため、今後、地域の中で考え・工夫する必要がある。そういった地域を支援などできるような考えを総合計画には盛り込んでいただきたい。

→1点目の次期総合計画での年号については、策定状況と次期年号のタイミングを鑑みて、西暦表記や次期年号表記とするのかを見極めていきたい。

2点目について、市としても次期総合計画では、社会経済情勢や本市を取巻く状況の変化・課題に臨機応変に対応するため、委員ご提案と同様に、次期総合計画では理念や方向性を示し、施策を実現する具体的な事業等については、予算事業や個別計画で対応していきたいと考えている。

3点目の地域を支援する考え方については、ご意見として賜るが、自治会と課題を整理したものもあるので、こういったものも参考に、次期総合計画に反映できるよう検討していきたい。

(委員) 人口を増やす取組は必要であるが、人口が増えても自治会員が増えないとその地域の活性化に繋げることができないと感じるので、そういった仕組みを計画に盛り込んでいただきたい。

→自治会員のなり手不足は市としても認識しており、課題であると考えている。例として、市として補助金の申請等の煩雑な事務については、一本化するなど少しずつであるが、改善を図っている。

また、本市には多くの個別計画があり、委員ご指摘の課題等も個別計画で捉えられていると思うので、次期総合計画では、そのような個別計画もパッケージできるようにしたいと考えている。

(委員) 今後、地域社会が重要となってくると認識しているが、現状として、その地域に情報が周知されていないと感じている。素晴らしい計画を策定しても、その情報が周知されなければ、絵に描いた餅になってしまうので、シティプロモーションについては、次期総合計画でも重要視していただきたい。

→シティプロモーションについては、第四次総合計画では、第三章に位置付けていたが、次期総合計画では計画体系に位置付ける方向で検討している。示し方については、今後、検討が必要だが、その重要性については、認識しているので、明確にできるよう対応していきたい。

また、組織としても、平成 30 年度よりシティプロモーション課内に営業戦略係を設置し、情報を一元的に集約・発信できるような仕組みも行っている。

(委員) 第四次総合計画にある「安全安心で快適に暮らせるまち」について、防犯等も重要な要素の一つと認識している。中小企業では若い世代の働き手不足が課題としてある中、外国人登用を進めざるを得ない状況にあり、防犯面で懸念されている。次期総合計画を策定するにあたり、事業者が協力すべきこと・やることもあるかと考えられるので、そのような点が盛り込まれるようご検討いただきたい。

→第四次総合計画の政策として、「市民生活を守る安全安心なまちづくり」とあり、防犯対策の推進を行っている中、本市は、防犯対策について積極的に取り組んでいると認識している。次期総合計画についても、同様に位置づけていきたいと考えている。

(委員) 計画を策定する上で、現状をどの様に把握するかが重要であり、主体は市民であると感じている。については、市民アンケート等の手法を用いて、市民の意見や満足度などを広く取り込んでいただきたい。

→次期総合計画を策定するにあたり、市民アンケートの実施を予定している。内容等の詳細は検討中であるが、規模としては、市民 3,000 人を対象としている。その後、アンケート調査の結果を分析し、総合計画に反映していきたいと考えている。また、それとは別に、市民意見等が確認できる手法を検討しているところである。

(委員) 以前、市のアンケート調査に回答した記憶がある。こういった市が行うアンケート調査が色々あると思うので、市民意見を取り込むにあたり、活用したらいいかがか。

→別の部署で 2 年に 1 度、市政アンケートを実施している。その中では、市政の満足度調査等を行っており、第四次総合計画にも盛り込んでいる。次期総合計画でも同様に、反映できる情報等があれば活用していきたい。

(会長) 本日の整理として、地域のニーズは住民にとって気になる部分であるので、地域計画でないとしても、「地域がやること」「行政が支援すること」等を盛り込んでいただきたい。また、外国人の登用等による地域以外との接点のあり方、シティプロモーションの重要性を示してほしいとの委員からの意見が多かった。

(3) その他
<質疑・意見等>
特になし。

3 閉 会

以 上